

氏名	倉富 光成
学位の種類	博士（経営管理）
学位記番号	博甲第十一号
学位授与年月日	令和4年3月16日
学位授与の要件	嘉悦大学学位規程第6条
学位論文名	企業・自治体等が制作したマスコットキャラクターを愛好する消費者の態度形成に関する研究 ー同一化概念に基づいたプロモーション活動への示唆ー
論文審査委員	主査教授 劉暢 副査教授 上原 聡 副査教授 明山 健師

論文審査の結果の要旨

一. 評価

この論文には、以下3点においてオリジナリティがあると認められる。

1. マスコットキャラクターに関する先行研究を3種類に分けて具体的に検討した努力は、評価に値する。
2. 「消費者行動論の観点から、マスコットキャラクターを活用したプロモーション活動における感情の役割」および「関与と態度形成プロセスの関係性、顧客ロイヤルティの形成プロセスと同一化に基づくコミュニティに関する精査」を行い、それまでの議論を深めた。
3. 先行研究を踏まえ、定性的なディスプレイ・インタビュー方式および定量的なアンケート方式で実証分析を実施し、よって、「マスコットキャラクターを活用したプロモーション戦略を設定する上での要素として」3点を提示した。

二. 問題点

1. マスコットキャラクターの経済効果は、制作した企業・自治体側と消費者側の双方の相互作用によるものである。従って、マスコットキャラクターを制作した企業・自治体側における制作必要性の形成に触れなかったことは、この研究の社会的意義を弱めることにつながってしまい、大変残念である。昨年度の審査ですでに指摘された上記内容に関する修正が行われなかった。
2. この論文において6章中の4章が先行研究に関する検証に当てられてしまい、学術論文としては、誤字脱字をはじめ表記には訂正すべき箇所が多く、文章表現が拙劣で、構成および言語面での完成度が極めて低いと思われる。実証研究においても、アンケート対象の選定およびサンプル数の決め方には検討の余地が残されている。現時点では、これら問題点についての改善が不十分と判断される。

3. ライディングスキルの不足が一貫した論述の展開を妨げたため、検証の意図および実証分析の実態は、極めて把握し難い内容となり、理解しがたいものとなってしまった。とりわけロジックの展開そして結論のまとめに関しては、引用先分析の拡大解釈に加え、その分析に筆者自身の考えの上乗せなどの記述が多く確認された。従って、この論文の説得力を引き上げるためには、大幅な修正が必要である。

三. 審査結果

上記の通り、この論文に一定の学術的独自性があると考えられる。指導教授のたつての希望もあったことから、最終試験で指摘された修正内容に従って、指導教授の責任において大幅に改稿することを条件として、最終的に合格と判定した。